



夏山遭難防止



いよいよ夏山シーズンとなりました。広大なアルプス等の景観を求め、1年で最も登山が活発になるシーズンですが、山岳遭難が多発するシーズンでもあります。

昨年7月、8月の夏山期間中の山岳遭難は、発生件数は143件で、遭難者は、死者6名、負傷者75人、無事救出者73人の合計154人を記録しました。

特に、北アルプスでの発生が102件と県下全体の山岳遭難の約7割を占めました。

★ 遭難の態様

転倒や転落・滑落が最も多い。

下山中の遭難が目立つ。

疲労や道迷いによる行動不能遭難の多発。

★ 年齢別

40歳～50歳代が約4割。

60歳以上が約5割。

40歳以上の中高齢層の遭難者が全体の9割を占める。



- 登山は観光ではなく、危険を伴うスポーツであることを理解する！
- 自分の体力・技術・経験にあった山を選ぶ！

横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト



少年の犯罪被害・非行防止と有害環境浄化



横断歩道ルール・マナーアッププロジェクトとは・・・

運転者、歩行者に対して横断歩道での交通ルール遵守とマナーアップ行動を呼びかけ、双方の交通安全意識の高揚を図るもの。

みんなで取り組もう！

★ドライバーの皆さんは

- 1 横断歩道手前で減速
- 2 歩行者がいるか確認
- 3 歩行者がいたら必ず停止

★歩行者の皆さんは

- 1 横断歩道を渡る
- 2 手を上げて、横断する意思を伝える
- 3 大きく首を振って、安全確認



7月は「青少年の被害・非行防止全国強調月間」です。

非行は子供からの「SOS（サイン）」です。

少年の被害・非行防止のため、家庭・地域など社会全体が一体となって、

「少年非行を生まない社会づくり」を推進し、青少年の健やかな成長を見守りましょう。

【注意点 子供が発するサイン（SOS）】

- ① 帰宅時間が遅くなったり、無断外泊をする。
 - ② 友達の名前や外出先を言いたがらない。
 - ③ 服装（見た目）が派手になった。等
- 少年に関する相談は、24時間対応のヤングテレホン026-232-4970
(長野県警察本部生活安全企画課)